



広島廿日市ロータリークラブ会報

— 本年度会長方針 —

「広いところ 豊かなところ」 No.359



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日 / 毎週月曜日12:30~13:30 例会場 / 広島サンプラザ TEL(082)278-5000 会長 / 梶田滋 幹事 / 久保田幸恵

第712回 2011年10月24日

於：広島サンプラザ

会長時間



広報委員長 清水 理也 会員

今年度の方針は「ロータリークラブのブランド化を目指し公共イメージと認知度の向上を模索する。情報源はクラブ会員全員の認識のもと、広報の向上を図りクラブへの理解を深める」です。お願いしたいのは、特に例会以外の活動で広報の事を頭の片隅に入れて頂いて。その折には写真1枚でもいいのでお願いします。

今年度新しく始めたのがYoutubeです。Youtubeは世界からの動画が集まるサイトです。ここでさまざまな動画が視聴可能です。それまで動画配信はプロだけのものでしたが、素人でも動画を投稿し世界に発信できるようになりました。去年の時点で登録ユーザー数は4億2千万人、1日辺りの総動画再生回数は20億回と言われています。近い将来はテレビでのYoutubeの視聴も当たり前になってくると思います。発信する側のユーザーにとっては更に有効なツールとなって行くと思います。このYoutubeのサービスは基本無料で使用できます。当クラブにとっては今回

のYoutubeの使用はホームページに加え新しいインターネットでの広報活動となります。インターネットで見てもらう手段としては検索して閲覧してもらうのが基本になります。そこでポイントとなるのが検索結果です。検索結果で色々なホームページやその他のあらゆる情報が順番に表示されます。そこでいかに上位に当クラブの情報を表示されるかが当クラブの情報へのアクセス増加に繋がって行きます。検索キーワードを「廿日市ロータリークラブ」と検索する方はすでに認知された人です。当クラブの存在を知らない人はもっと一般的なキーワードで検索することと思います。例えば「廿日市 水保全」と検索すると当クラブの情報が結果リストの1番、2番にヒットします。これは素晴らしい事だと思います。「廿日市 留学生」と検索すると検索結果の1ページ目の最後に朴さんの動画がヒットします。これはYoutube使用の1つの効果だと思います。この検索のシステムは一つ目はキーワード、2つ目はアクセス数の多い情報であることと3つ目に重要なのは情報のフレッシュであることです。新しい情報ほど検索の上位に来ることになります。もちろん劇的な効果は少なく地道な作業になると思いますが今後もこうした無料で使えるインターネットツールを使用し少しでも効率よく広報活動が出来ればと思っています。

幹事報告

①次回例会

次週 10/31(月)は、ガバナー公式訪問です。ガバナー、随員幹事、グループ7ガバナー補佐がお越しになります。クラブ統一のネクタイ、ロータリーバッジをご着用ください。また、例会終了後にクラブフォーラムが開催されますので、ご参加をお願いします。

スマイルボックス

川崎 尚さん	上杉 昌幸さん
河内 正晴さん	近藤 英昭さん
山根 達則さん	吉野 篤敬さん
渡邊 英晶さん	永井 勝康さん
福原耕二郎さん	吉永 孝正さん
松本 猛さん	青木偉久子さん
太田 泰宏さん	

卓 話



「がんの緩和ケア」

広島県緩和ケア支援センター長
(県立広島病院緩和ケア科
主任部長)
(広島大学医学部臨床教授)

本家好文 様

日本人の死因の第一位は「がん」です。日本人は約3人に一人が、がんで亡くなっています。また、日本人が一生のうちに「がん」を体験する可能性は、約50%と高率で身近な病気です。

がん医療における緩和ケアは、がんによって起こる体と心の痛みを和らげるだけでなく、生活やその人らしさを大切にしようという考え方のことを言います。がん患者さんや家族は、がんと診断されたとき、治療の経過中、あるいは再発や転移がわかったときなど、さまざまな場面で辛さやストレスを感じます。緩和ケアでは、患者さんと家族が自分らしく過ごせるように、医学的な面だけでなく、さまざまな苦悩に対して対応します。

がんの療養中は、痛みや吐き気、息苦しさ、だるさなどの体の苦痛、気分の落ち込みや絶望感などの心の問題が、普段の生活を妨げることがあります。こうした問題は、程度の差はあっても多くの患者さんが経験します。「がんの治療のことではないから」と相談しないで抱え込んでしまったり、「症状だけをなくしても、がんが治るわけではないから」「気持ちの持ちようだから」と症状を和らげることに消極的な人もいます。

今までのがん医療の考え方では、「がんを治す」と

いうことに関心が向けられ過ぎてきました。医療者も患者さんの「辛さ」に対して十分対応してきませんでした。しかし、最近では、患者さんがどのように生活していくのかという「療養生活の質」も「がんを治す」と同じように大切に考えられるようになってきているのです。「がん」と伝えられると、多くの人が「死」を意識します。すべての人は等しく死を迎えます。その時になって慌てることなく、日頃から「死を想う」ことは、「どう生きるか」にも結びつく大切なことです。そういう意味でも「緩和ケア」について正しい知識を持つておくことは重要です。



本家好文先生と梶田会長

第709回 2011年10月31日

於：広島サンプラザ

会長時間



梶田 滋 会長

本日はガバナー公式訪問です。田村ガバナーようこそいらっしゃいました。

さて、今日は今月16日(日)に柳井で開催されました地区大会と米山奨学財団について話をしたいと思います。

今年の地区大会には、当クラブから、15名の方に登録をしていただきました。また、RCCから2名、米山奨学生の皆さんにも参加していただきました。

私が初めて参加したのは、入会した2000年、土肥ガバナー年度であり、西条で行われた地区大会になります。この時の大会では、地元の小学生がオペラ「白壁の街」を上演しました。初めての参加ということもあり、大変印象深い大会になっています。今年の地区大会は、東日本大震災復興支援がテーマであり、初めて参加した地区大会と同じかそれ以上に、私にとり印象に残る大会になりました。

増田前岩手県知事の記念講演は、現場の臨機応変な対応の必要性など、現場を良くご存知の知事ならではのお話であり、大変印象深いお話でした。最後に、さたまさし作詞・作曲の「いのちの理由」の曲とスライドが流されました。心にしみいる歌であり、私にとって、人と人とのつながり・絆ということ、改めて考えることができました。

ところで、昨年、三次で行われた地区大会では、紹介された米山奨学生23名のうち、20名が中国人であったことが印象的でした。これでは、中国のための米山奨学生制度になっているという批判がおきても、やむを得ない状況だという印象を抱きました。しかし、今年の米山奨学生は、中国13名と依然として多いものの、韓国3名、ベトナム2名、台湾・スリランカ・ネパール各1名と、昨年とは違った構成になっていました。

今月は米山月間でもあります。米山奨学財団は寄附金が低迷して、年間800名の奨学生の維持が困難になっているとのこと。私が米山奨学生の朴さんのカウンセラーをした2003年の奨学生は、全国で約1,000人でありました。米山奨学金財団への寄附が減少し、財団の財政が逼迫していることから、奨学生の人数も月額奨学金も減少させているのが現実です。

日本は国際化で生きることが必要であり、米山奨学生は将来の日本をささえてくれる人材とも言えると思います。地区目標であります、1人当り16,000円の寄附目標額を達成できるよう、皆様のご協力を、改めてお願い申し上げます。

以上で会長時間とさせていただきます。



新入会員
川口哲司さん



幹事報告

本日例会終了後13:40よりクラブフォーラムが「太陽の間」であります。

全会員のご出席をお願いいたします。

次週の例会

次週 11/7(月)の例会は、ホテルの都合により3階「金星の間」で行います。表示を出しておりますので、よろしくをお願いします。

スマイルボックス

田村 泰三 ガバナー
梶田 滋さん
久保田幸恵さん
中井 克洋さん
松野 正信さん
植田 敏揮さん
太田 泰宏さん
川口 哲司さん

卓 話



国際ロータリー第2710地区 ガバナー
田村 泰三 様

2011-12年度の地区ガバナーを務めさせていただき、柳井ロータリー・クラブの田村泰三です。本日は皆様にあたたかく迎えていただき感謝しております。ガバナーの卓話に当たり、まずお話しさせていただきたいことは、今年度国際ロータリーのカルヤン・パネルジー会長のRIテーマです。すでにご承知のように「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。このテーマをロータリー活動あるいは実生活にどのように生かせばよいのかを考えてみたいと思います。パネルジー会長は「こころの中を見つめよう」を「深く自らを省みること」と説明しています。反省をすることが必要だといっているのだと思います。反省には一日に三回の反省をすることまたは、論語にある三つの反省、さらには江田島の海軍兵学校では五つの反省などがあり、学生に教育勅語とともに教育されていたといわれます。

1、至誠に怠る勿りしか。1、言行に恥づる勿りしか。1、氣力に欠くる勿りしか。

1、努力に憾み勿りしか。1、不精に亘る勿りしか。というものです。このような精神教育によって海軍の教育が行われたようです。

反省は自分を育てるうえで大変重要な手段です。しかし、一人では効果をあげにくいものでもあります。他人から指摘されたり、仲間とともに反省をすることで効果は大きくなるように思います。ロータリーが親睦によって仲間をつくり、例会によって仲間と集うことは自分を育てるためにも欠かすことのできない条件であるといえるでしょう。こうして考えてみますと、

自分を育て自己改革をすることは決して容易ではなく、時には痛みや苦しみを伴うこともあるように思われます。また、精神力だけで物事が解決できるわけでもありません。

RIテーマはまず自己を高めることを求めています。そして「博愛を広げるために」と続きます。ロータリーでいう「人道的支援」を推奨しています。他の人のために役に立とうというものです。すなわち、自分を磨いて、人のためになろうということで、これはロータリーの目的そのものであると思います。

次にガバナーの信条として「ロータリーで楽しむところを学ぶ」を掲げました。私たちのロータリー活動は楽しくなければならぬと思います。そのためにはどのようにすればよいかを学ぶことが必要です。楽しいという感情は自然にわいてくるもので、自分ではコントロールできないと思われがちです。しかし、女子サッカーの世界選手権で優勝したメキシコ選手たちは、決勝でアメリカと対戦した時に実力では劣勢に思えましたが、楽しんで試合に臨むと戦いました。結果は劣勢に立ちながら最後に勝つことができました。人は楽しむことで最大限の力を発揮するといわれます。実力では劣ると思われた相手に勝てたのはメキシコ選手が実力のすべてを發揮したからだだと思います。また、楽しむことも自分が意図することで作り出すことができるものといえるでしょう。厳しい訓練を重ねてきたメキシコ選手だからなしたと言えるのかもしれませんが、このように私たちはロータリーで楽しむためにはどのようにすればよいかを、ロータリー活動を通して学んでいきたいと思えます。

次に本年度の社会奉仕活動として「認知症の人と家族を 社会として支援する」ことを奉仕活動の一つとして考えてみてくださいとお願いしました。認知症の人を診断し治療するのは専門の医療施設が担当しており、介護支援には介護福祉施設があります。このような専門家になっていただくのではなく、サッカーのサポーターのように医療福祉の専門家や家族を温かく見守り、外から支援する気持ちを持っていただきたいということです。たとえば介護に疲れた家族を慰めたり、孤独感から解放する方法を考えることも有効です。このような社会をつくるためにロータリア

ンの皆さんが率先していただければ幸いです。

最後に東北の地震、津波および原子力発電所の事故からの復興に私たちは何が出来るかを考え、行動に移していきたいと思っております。

直前ガバナー年度に提出していただいた義援金により、災害により遭難となった学生の育英資金とファイブ・フォー・ワンという制度を作り、被災したロータリー・クラブと被災していない15つあるいはそれ以上のロータリー・クラブとの組み合わせで、物心両面で支援していくという準備が進められています。被災して職業の基盤を失ったロータリアンおよびロータリアン以外の全ての人が生活の基盤を再建するために、全国の非被災地域の同業または同業関連のロータリアンが職業を通じて知恵と力を出すことは今まで学んできた職業奉仕そのものであると思っております。

その他にロータリー財団による東日本大震災復興基金が立ちあげられています。非常に広範囲で高度な災害であり、復興には長い時間を必要とします。ロータリー活動として継続した支援をしていくよう心を合わせていきたいと思っております。

皆さまとともに楽しく有益なロータリー活動が出来ますことを願っております。



RCC10月報告書

2011 10月定例会 報告書
平成23年10月12日(水) 19:30～
八幡公民館

<出席者>

- ・ 廿日市ロータリークラブ : 佐伯
- ・ ゆうほ : 長、住田、森田、植村、西川、稲田、笠井、船木

1 ゆうほから

<パトロール&環境保全>

日時: 9月16日(金) 18:00～

場所: ビッグ～ローソン～ダイソー～八幡交番～サンリブ

参加: 廿日市ロータリー

ゆうほ: 住田、森田、渡辺

～気づき～

フタバ図書館の開店日で、初めて、パトロールをした。雨降りにもかかわらず、カードゲームコーナーもあり、ちいさい子ども達も多かった。

店の従業員さんたちは、防犯に対する教育はされているようです。

<やはたふれあいまつり>

日時: 9月17日(土) 前日準備: 森田、渡辺、住田、長、船木

日時: 9月18日(日) 八幡小学校グラウンド 10:30～14:00

内容: コーヒー販売、工作(壁掛け、うちわなどの手作り)

参加: 森田、植村、渡辺、住田、長、西川、稲田、笠井、船木

～気づき～

前日の雨のせいか、人出が少なかったようです。

気温が上がり、アイスコーヒーがよく売れました。

手作りの工作教室は親子連れが多く、盛況でした。

♡ 心に作用する逸品のコーナー ♡

スペイン紀行

渡邊 英晶

2011年9月1日より紀伊半島直撃の台風12号を避けるように世界遺産を訪ねてスペインに旅立ちました。スペインは40余りの世界遺産を有する国です。マドリッドからトレド、アンダルシアを経てコルドバ、セビリア、ミハス、地中海沿岸都市マラガまで横断、グラナダからバルセロナまでと帰国9月9日の8日間スペインを堪能してまいりました。

711年、スペインの西ゴート王国は北アフリカから侵入したウマイヤ朝とのグアダレーテの戦いで敗れて滅び、イベリア半島のほとんどがイスラム勢力に征服されました。イスラムに征服された半島はアンダルスと呼ばれ、今の名称アンダルシアになっております。そのころの名残はいたるところに残っております。世界遺産メスキータ(イスラム・キリスト教、ふたつの宗教文化が見事に混在する非常に珍しい教会モスクです。)アルハンブラ宮殿(イスラム建築の最高傑作とも称されるこの宮殿、あまりに美しいのでキリスト教の政権に代わった時にも壊されなかった。)他の欧州諸国にくらべ闘牛やフラメンコ等独特の文化を持つスペインです。

現地で日本に留学経験のあるスペイン青年と友人になりました。彼曰く「スペイン人の常識は日本人の非常識です。スペイン人は貯金しません。官庁でいく

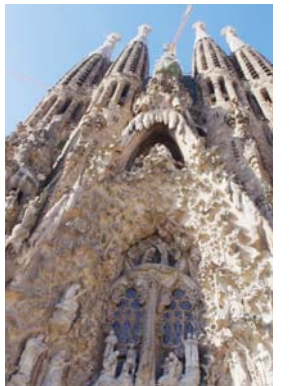
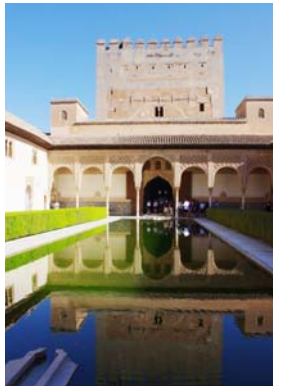
ら並んで居ても1時になれば途中で業務をやめる。おまけに文句を言ってもあなたが早く来れば良かっただけと取り合わない。レジでお金を払う時も平気で待たせるし、みんなおとなしく待っている。子供に勉強を強いる学校に文句を言う。昼から昼寝シエスタ



をする習慣やら日曜には、人出が多くてもお店を開けない。」等と逆に幸福な社会生活とは何なのかを考えさせられました。60歳になれば

医療費、公共交通はタダ。消費税16パーセントの国です。遊んでいる子供たちの屈託のない顔と老人の笑顔と陽気さに魅了されました。そしてドンキホーテを生んだ土壌(人に馬鹿にされながらも自分の道を進んでいく。見方によれば現在社会では英雄像なのかも)は羨ましく思えました。もちろんワインも美味しかったです。

バルセロナにてガウディ製作の有名建築に入れた事、その師匠さんの作ったホテル(半年前から予約いっぱい。ツアー客はなし)に泊まれたのは幸いでした。もちろんサッカーチームバルセロナのユニフォームは買って帰りました。(笑)写真はサグラダ・ファミリア教会、アルハンブラ宮殿、ガウディ製作の建物についていた窓枠。すべて内部は曲線で建てられており不思議な空間でした。



ロータリーひとくちメモ⑦

仮ロータリー・クラブ

新クラブ結成に必要な職業分類の存在する地域があれば、ロータリー・クラブの加盟を申請できます。クラブの区域限度が所在地域に改正されたのに伴い新クラブの結成は、より容易になりました。

毎週例会を開くようになっても正式に加盟が承認されるまでの期間は仮クラブと呼ばれます。

仮クラブへの出席も通常のロータリー・クラブと同じようにメイクアップとみなされます。

創立会員は20名以上いなければなりません。

2004年規定審議会でも新クラブにおけるスポンサー・クラブの会員数は25名以上から20名以上に改正されました。(04-45)